

赤十字は、 動いている！

+ SAVE365

Japanese
Red Cross Society

知らなかった！

赤十字は、災害が起きた時に駆けつけるだけじゃないんだ。
365日、それぞれの部門がそれぞれの場所で動き続けているんだね。
災害に備えた訓練、知識や技術の普及、
物資の整備、医療現場や海外での活動などなど、
すべてが人を救うことにつながっている。
このかけがえのない日常を支える赤十字の日々の活動を、
私が伝えていきます。



TEAM
SAVE365

一緒に、救える。

日本赤十字社の活動は、皆様の寄付によって支えられています。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社

茨城県支部

〒310-0914 水戸市小吹町2551

TEL029-241-4516

皆さまのご寄付がカタチを変えて社会に貢献しています

✓ 国内災害救護活動

皆さまからのご寄付は、ここでご紹介する「災害救護活動」をはじめ、苦しむ人を救う様々な活動に大切にに使わせていただいています。

日本赤十字社は、地震や台風等の災害や大事故が発生した際、救護班を派遣して医療救護活動、救援物資の配布、こころのケア、ボランティア活動等を行います。

茨城県支部では、災害時に備え、救援物資、救援車両を全市町村に配備し、災害発生時は、被災された方々に救援物資を迅速に配布します。

多様化・甚大化の傾向にある災害に対応し、苦しむ人々を救い続けるため、皆さまの温かいご協力を必要としています。

令和4年の主な災害

3月	地震災害	(福島県)
7月	大雨災害	(宮城県)
8月	大雨災害	(東北・北陸地方)
9月	台風災害	(静岡県)



▲【令和4年8月大雨災害】救援物資を被災地に届ける日赤職員



▲医療支援を行う日赤職員



▲避難所生活に必要な救援物資(マット等)

✓ 青少年赤十字事業

青少年赤十字は、地域社会や世界平和に貢献できる優しいこころを持った子どもたちを育成しています。

本県では、350校、約66,000人のメンバーが、校内外での清掃活動、慰問、募金活動等の活動を通して、赤十字の心を育んでいます。



▲SDGsについて学ぶ高校生メンバー

✓ 社会福祉事業(乳児院)

社会的・経済的な事情により、ご家庭での養育が難しい0歳から小学校就学前までの乳幼児を、24時間体制でお預かりしています。

また、乳児院では、子どもたちと一緒に遊び、授乳や離乳食を介助するボランティアが活躍しています。



▲しゃぼん玉を追いかける乳幼児

茨城県支部および国際支援活動へ温かいご支援をお願いします

国際支援活動

ウクライナ人道危機救援

2022年2月24日から1年以上が経つ現在も、終わりの見えない武力紛争が続いています。赤十字は、紛争地域での医療支援や避難誘導、避難地域での物資や住居の提供など、継続的な支援を続けています。

日本赤十字社は、資金援助に加え、ウクライナや周辺国に職員を派遣し、現地のニーズに対応した支援活動を展開しています。



▲首都キーウで攻撃のなか、24時間体制で対応する緊急対応チーム
©ウクライナ赤十字社

トルコ・シリア地震救援

2023年2月6日、トルコとシリアの国境付近で大地震が発生しました。被災地では、赤十字の職員及びボランティアが、救援物資の配布、温かい食事の提供、こころのケア等の支援を展開しています。

日本赤十字社は、2億3,000万円の緊急資金援助、また、職員を派遣し、現地のニーズに対応した支援活動を展開しています。(令和5年2月末現在)



▲救護にあたるシリア赤新月社のスタッフ
©SARC



▲温かいスープを準備するボランティア
©TRCS

ご協力の方法 町内会・自治会を通じたご協力のほか、ご都合にあった方法で受け付けています。



払込票を利用して



市町村の福祉系の窓口で



インターネットで
(検索 日赤寄付)

この払込取扱票は、ご寄付を強制するものではありません。ご賛同いただきましたら、ご協力いただけると幸いです。

99 東京 払込取扱票																			
口座記号番号										金額									
0	0	1	0	0	0	7	8	9	8	7	2	千	百	十	万	千	百	十	円
加入者名 日本赤十字社茨城県支部										料金		備考		免					
加入者名 ※ おなまえ ※ お電話番号 ◎お礼状と領収書が不要な方は <input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。 □不要 ◎このチラシをどこで手にしましたか <input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。 <input type="checkbox"/> 市報・町内会の回覧 <input type="checkbox"/> イベント <input type="checkbox"/> 赤十字講習 <input type="checkbox"/> 当支部からの郵送 (救急法・水上安全法・幼児安全法・健康生活支援講習) <input type="checkbox"/> その他() R5 月間チラシ																			
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第53203号) これより下部には何も記入しないでください。																			

振替払込請求書兼受領証																			
口座記号番号										金額									
0	0	1	0	0	0	7	8	9	8	7	2	千	百	十	万	千	百	十	円
加入者名 日本赤十字社茨城県支部										料金		備考		免					
加入者名 ※ おなまえ ※ 日附印																			

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。切り取らないでお出ください。

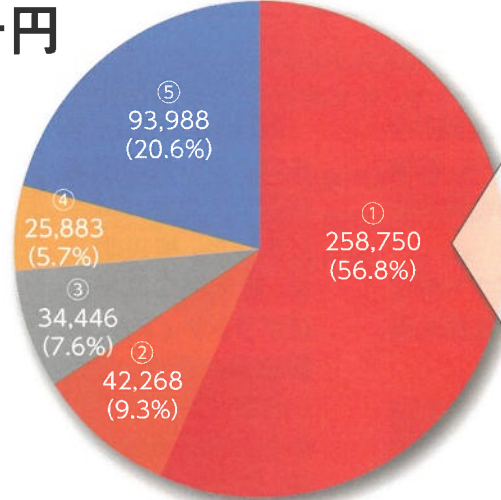
令和5年度 茨城県支部 活動資金(ご寄付)の使いみち

赤十字の活動は、皆さまのご寄付で支えられています

総額 **455,335千円**

単位:千円

- ①いのちと健康を守る活動のため
- ②災害救護関連施設等の維持管理のため
- ③活動資金募集のため
- ④広報活動のため
- ⑤活動の運営管理のため(国内の災害に対する対応を含む)



①いのちと健康を守る活動の内訳

- ◆ 災害救護活動と救護体制の強化等 ⇒88,637千円
- ◆ 市町村の赤十字活動(地域ボランティアの活動など) ⇒58,400千円
- ◆ 全国的な赤十字活動(海外の紛争・災害への対応を含む) ⇒53,978千円
- ◆ 青少年赤十字・ボランティアの養成 ⇒25,436千円
- ◆ 健康・安全のための知識と技術の普及 ⇒30,248千円
- ◆ 国際支援活動 ⇒2,051千円

あなたのご寄付で実現する活動

2,000円で



毛布
1人分

5,000円で



緊急セット
1セット4人分

10,000円で



心肺蘇生トレーニングキット
6人分

資金の有効活用のため、この受領証をもって日本赤十字社の受領証にかえさせていただきます。
なお、本受領証は、免税証として利用いただけます。

払込みいただいた金額は個人については、所得税法第78条第2項第3号の規定に基づく寄付金に該当し、法人については、法人税法第37条第4項に基づく寄付金に該当します。

〒310-0914 日本赤十字社
茨城県支部 組織振興課
電話 029-241-4516

〈ご注意〉

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ATMではご利用いただけません。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は無料となります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

この場所には、何も記載しないでください。

自治会・町内会を通してご協力のほか、ご都合にあった方法で受け付けております。
この払込取扱票は、ご寄付を強制するものではありません。